

平成 27 年（2015 年） 4 月 4 日

蘇南高等学校 始業式 挨拶

皆さん、あらためまして、おはようございます。

今日から新しい年度が始まります。新任校長として、皆さんに少しお話をしたいと思います。明日 4 日の入学式の式辞と重なる部分もあるかと思いますが、私の考えているところの一端をお話します。

まず、3 年生の皆さんにとっては高校生活のまとめの年になります。それぞれの進路実現に向けて積極的に学習に取り組んでください。

また、最高学年として下級生のよい手本となるよう、規律ある学校生活を送ってください。

次に、2 年生の皆さんは中堅学年として、各種行事や部活動で 3 年生を支えてリーダーシップを発揮してください。一日一日を大切に、学力や体力のレベルアップに取り組んでください。

すべての行事の成功の元は 2 年生の頑張りにあることを心してください

そして、今ここにいる 2 年生・3 年生の皆さんで新一年生を温かく迎えてやってください。

☆このことをお願いした上で、今年度一学期、皆さんに重点的に取り組んでもらいたいことを二点お話しします。

□一つ目は、目標を立てて計画的にその達成に取り組む習慣をつけるということです。

皆さんは、「一年の計は元旦にあり」ということわざをご存知のことと思いますが、この諺は、中国の伝統的な年中行事・儀式・しきたりなどを解説した古い本から来ています。（中国・明代（14～17 世紀）の本、「月令広義」）ただそこでは「一日の計は晨（あした）にあり。一年の計は春にあり。・・・」と書かれていました。

「晨」は朝のことで、「春」は正月を意味し、それが元旦となったようですが、私は文字通り、一年の計は春にあり、と考えたいと思います。

それは、学校の1学期が4月から始まるからであり、何よりも春は、新しい命が芽吹き、大自然が古い上着を脱ぎ捨て装いを新たにするエネルギーに満ち溢れた季節だからです。

こうした時期こそ、昨年度の自分を振り返り、反省し、新たな目標を立てそれに向かって活動を始めべきだと考えるからです。

目標を立てれば、それを達成するための手段と行動が明白になります。目標があれば、努力しようとする気持ちが湧き上がってきます。

二つ目は読書の習慣です。

本を読むということは、単に知識を得るというだけでなく、他の人の経験を学ぶということです。

他の人の気持ちになってものを考えるということです。そこから世界が広がり、夢が生まれ、人間性が深まります。

蘇南高校の地は読書と書いて「よみかき」というまさしく、読書学問にふさわしい場所です。それぞれに読書の習慣を身につけてください。

とはいえ、この2つを習慣化することはなかなか難しいと思いますが、自分を励まして続けてみてください。1学期の終業式にはきっと眩しいくらいに成長した皆さんにお会い出来ることを楽しみにしています。

最後になりますが、私たち教員は、皆さんが健康で元気で明るく登校し、自己実現に向かって毎日一生懸命がんばっている姿を見ることを何よりも願い、皆さんの頑張りを力一杯応援したいと心から思っています。

今年一年、皆さん一人ひとりが、自分らしく輝き、魅力的な人間に成長することを願って始業式の挨拶とします。